

また、同年齢幼児のもう一つの保育機関である保育所に収容されている5才児を加えても、普及率が36.6%にとどまり、全国水準を下まわっている。

さらに、このような現状にある普及率は、今後高まることが予測されるが、仮に従来どおりの伸び方をするとすれば、現在の全国水準の開きは、さらに大きくなるものと予測される。

したがって今後は、幼児教育の重要性にかんがみ、すべての該当年齢幼児に対して幼児教育を施すことを目標とし、施設の拡充整備をはかり、幼稚園の就園率をさし当って全国水準なみに引き上げることが、本県教育の重要な課題である。

(2) 幼稚園の設置状況をみると昭和39年5月1日現在、公立47、私立97、計144の幼稚園が設置されているが、地域別、設置者別の分布状況は、第3表のとおりである。

第3表 地域別、設置者別幼稚園数 (39.5.1現在)

地 域	市 部、郡 部	公 立	私 立	計	比 率(%)
県 北	市 郡 部 部 計	12 5 17	11 2 13	23 7 30	20.8
県 南	市 郡 部 部 計	— 3 3	2 1 9	2 4 6	4.2
会 津	市 郡 部 部 計	— 12 13	11 8 19	12 20 32	22.2
相 双	市 郡 部 部 計	— — —	6 4 10	6 4 10	6.9
常 磐	市 郡 部 部 計	6 4 10	31 1 32	37 5 42	29.2
郡 山	市 郡 部 部 計	— 4 4	13 7 20	13 11 24	16.7
全 県	市 郡 部 部 計	19 28 47	74 23 97	93 51 144	(64.6) (35.4) 100.0
	公、私別比率	32.6%	67.4%	100.0%	

設置者別では、私立幼稚園が多く67.4%をしめている。また都市別では、市部が64.6%、郡部が35.4%であり市部に集中している。特に市部に私立幼稚園が多く、公立幼稚園は少なくなっている。地域別では、常磐地区の29.2%、会津地区22.2%、県北地区20.8%の順に多く、県南、相双地区は、比較的少ない。

次に園児数についてみると、第4表のとおりで幼稚園数と同じく市部に集中しているが、その傾向が一層はなはだしく、市部の園児数の割合は73.6%に達している。

以上のように、本県における幼稚園教育の普及状況は、地域による格差がかなり大きく、特に